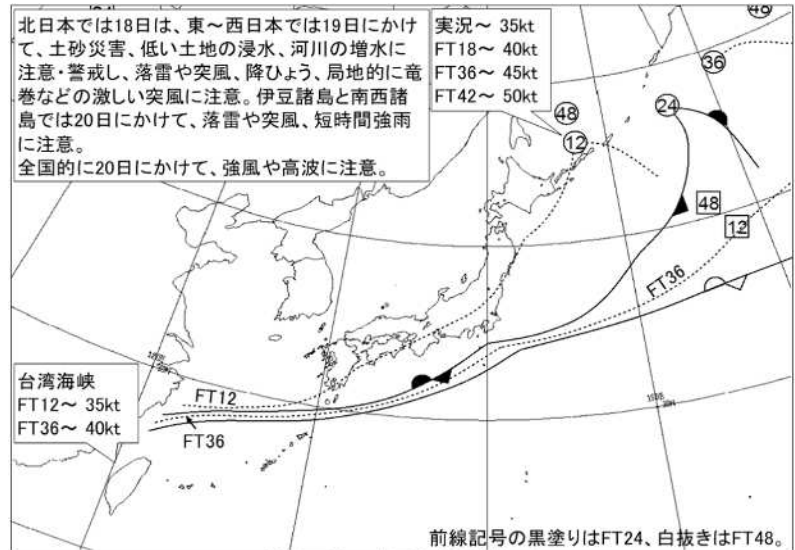


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m付近のトラフに対応して前線を伴う低気圧が北海道付近を東北東進。500hPa 5760m付近のトラフに対応して日本海を東北東進する別の低気圧から、寒冷前線が対馬海峡～東シナ海にのびている。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、北～西日本日本海側～九州付近では、雷を検知、激しい雨や非常に激しい雨を解析。周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなっている所がある。
- ② フィリピンの東を西進する台風第24号周辺の下層暖湿気の影響で、沖縄の南で雷を検知、強い雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 日本のはるか東を東北東進する発達した低気圧の高波域からのうねりの影響で、北～東日本の太平洋側では波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 19日ははじめにかけて、1項①の北海道付近の低気圧がオホーツク海へ進み、日本海の低気圧はこの低気圧からのびる前線と一体化して不明瞭になり、寒冷前線が本州付近を南下する。前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で、北～西日本では、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降って大雨となる所がある。また、低気圧や前線の周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風、強風や高波に注意。
- ② 19～20日は、2項①の前線が南西諸島～伊豆諸島付近にほとんど停滞、大陸の高気圧が日本海に張り出す。高気圧と前線の間で気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。北～西日本では引き続き強風や高波に注意。また、伊豆諸島や奄美地方では前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定になる所がある。落雷、突風、短時間強雨に注意。
- ③ 1項②の台風は20日にかけて南シナ海に進む。沖縄地方では、台風周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定になる所がある。また、日本の南に張り出す高気圧縁辺を回る吹送・吹続の長い東よりの風や2項②の高波域の影響で、波が高い状態が続く。落雷、突風、短時間強雨、強風や高波に注意。
- ④ 19日夜～20日にかけて850hPa -6℃以下の寒気が北海道地方に南下。また、20日は低気圧がオホーツク海を東進し、低気圧からのびる気圧の谷が北日本を通過する。北海道地方では日本海側やオホーツク海側を中心に平地でも雪が降り積雪となる所がある。積雪や路面の凍結による交通障害に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間):北陸100mm。② 波浪(明日まで):北海道・東北・関東・伊豆諸島・北陸・近畿・中国・九州北部3m。③ 高潮(明日まで):大潮の時期。西～東日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。